



練馬東中学校 学校だより

教育目標 ○心豊かな人 ○健康な人 ○考える人 ○共に生きる人

令和8年度10月号

知っていること、できること

校長 荒井 友香

2学期が始まって1ヶ月。中間考査の結果も出て、今は合唱コンクールに向けた練習の歌声が響いています。

真面目に取り組んでいるのに思うような歌声にならなかったり、歌いたい気持ちの人と、まだ気持ちをつくることができている人との間で揺れ動いたりすることもあるようです。

「知っている」と「できる」の間には、おおきな川が横たわっています。

生徒のみなさんは、テストが返ってきたときに「これ知っていたのに！」と悔しい思いをしたことはありませんか。ノートには書いてあるし、授業を聞いたときは確かに分かったはず。それなのに、いざ一人で問題を解こうとすると、なぜか手が止まってしまう。そんな経験は誰にでもあるものです。

一方で、保護者のみなさまも、我が子が「分かっている」と言うわりに行動が伴わない姿を見て、もどかしさを覚えることがあるかもしれません。「宿題をやらなきゃいけないのは知っている」「スマホを離さなきゃいけないのは分かっている」。言葉ではそう言うのに動かない我が子に、つい小言を言いたくなってしまうこともあるでしょう。

しかし、ここで立ち止まって考えてみてほしいのです。私たちは、自転車の乗り方の本を読んだだけで、すぐに公道をスイスイと走れたでしょうか。プロの料理人の動画を見ただけで、同じ味を再現できるでしょうか。始めは思い通りにならないことがずっと多いのではないかと思います。

頭で「理解すること」と、実際に「できること」は、全く別の回路を使っています。知識を行動に変

えるためには、その間にある川に橋を架ける「練習」のステップが絶対に欠かせないのです。

ですから、「知っているのにできない」と落ち込む必要はありません。むしろ、知っているからこそ「できない自分が悔しい」と思えるその気持ちこそが、成長するための強力なエネルギーになります。

大切なのは、焦らずに「知っていること」を何度も繰り返し、失敗しながらも体に染み込ませていくことです。

合唱コンクールの練習も同じです。日々の練習の中で、「音程やリズムは頭に入っているのに、いざ合わせると声が出ない」「強弱をつけることは知っているのに、クラス全体で歌うとうまく表現できない」。楽譜の読み方も、曲のイメージも「知っている」はずなのに、思うように歌えないもどかしさを感じている生徒がたくさんいます。

学校という場所は、まさにその「できない」を「できる」に変えるための練習の場です。失敗は恥ずかしいことではなく、橋を架けている証拠。学校は、一步ずつ、その川と一緒に渡っていきたいと思っています。

地域の皆様、いつも温かく見守っていただき、ありがとうございます。学校前の道路をいつも掃除していただいている地域の方もいて、本当にありがたいといつも感謝しています。

合唱コンクールでは、子どもたちの歌声が保護者や地域の皆様への感謝の気持ちと共に響き渡るものと思います。多くの方のご来校をお待ちしています。

生徒会役員選挙・立会演説会

9月17日、生徒会役員選挙・立会演説会が行われました。立候補者は、自分の考えを、全校生徒の前で堂々と発表しました。演説を聞く生徒たちも、それぞれの思いを真剣に受け止め、誰に投票するかを考えていました。今回の選挙は、学校生活をより良くしていくとする意識を高める大切な機会となりました。生徒一人一人が生徒会の一員としての自覚をもち、みんなで協力しながら、より良い学校をつくっていくことを期待しています。



小学校6年生授業見学（小中連携）

9月18日、練馬東小学校の6年生が、本校の授業見学に来ました。

各教室で行われている授業の様子を見学し、中学校での学習や学校生活について理解を深めることができました。中学校での授業の様子や学習環境に触れ、中学校への期待を膨らませている様子が見られました。今回の見学が、中学校への進学に向けて、期待や意欲を高めるきっかけとなることを願っています。



テスト勉強しよう会

9月28日、29日の2日間、定期考査に向けた「勉強しよう会」を実施しました。本校の卒業生などの大学生に来てもらい、学習活動に協力してもらいました。生徒たちはわからない問題を質問したり、学習に取り組んだりするなど、集中して勉強していました。



合唱コンクールの練習

今週末10月17日の合唱コンクールに向けて、校内には毎日、生徒たちの歌声が響いています。各教室での練習に加え、体育館でのリハーサルも行われ、本番に向けて練習にも熱が入っています。今週はいよいよラストスパート。一人一人が仲間と心を合わせ、歌声や表現に磨きをかけながら、自分たちの合唱をつくり上げていきます。本番では、これまでの練習の成果を発揮し、聴く人の心に響く素晴らしい歌声を届けてくれることを期待しています。ぜひ、ご来校いただき、生徒たちの歌声をお聴きください。

